

プログラム

1. 開会式

9月12日（土）10：00～10：30

日本薬学教育学会理事長、第5回日本薬学教育学会大会大会長、文部科学省、厚生労働省

2. 大会長講演

9月12日（土）10：30～11：00

「未来を変える薬学教育の力」

大会長：奥 直人（帝京大学薬学部長）

3. 特別講演

9月12日（土）13：30～14：30

「未来を変えるチームビルディング – チェンジ チャレンジ チャンス –」

講師：岩出 雅之（帝京大学スポーツ医科学センター教授／帝京大学ラグビー部監督）

座長：小佐野博史（帝京大学薬学部 教授）

4. 教育講演

9月13日（日）13：00～14：00

「令和の時代の薬学教育と薬剤師に期待すること」

講師：安川 孝志（厚生労働省医薬・生活衛生局総務課 薬事企画官／医薬情報室長）

座長：奥 直人（帝京大学薬学部長）

5. 日本薬学教育学会奨励賞受賞講演

9月12日（土）11：00～13：00

座長：乾 賢一（京都薬科大学 名誉教授）

安原 智久（摂南大学薬学部）

教育研究奨励賞

「医薬品情報と基礎薬学の融合教育を志向した臨床応用教育効果の検証」

上田 昌宏（摂南大学薬学部）

「高度な臨床能力を持つ医療人を目指した学習プログラムの開発と

実践及び客観的評価系の構築」

蓮元 憲祐（立命館大学薬学部 准教授）

教育実践奨励賞

「コミュニケーション交流学习

–ホスピタリティの涵養とコミュニケーション能力の向上をめざして–」

井上 裕文（福山大学薬学部 教授）

6. シンポジウム

<シンポジウム1 (S01) > 9月12日(土) 11:00~13:00

日本薬学教育学会・日本医療薬学会合同シンポジウム

「改訂モデル・コアカリキュラムと臨床教育 —高い資質をもった次世代薬剤師の育成—」

オーガナイザー：高橋 一栄（大阪府済生会野江病院薬剤科 薬剤部長）

尾上 雅英（北野病院薬剤部 薬剤部長）

S01-1 次世代の薬剤師育成において、中規模病院に求められている教育体制とは
段林 正明（大阪府済生会野江病院薬剤科）

S01-2 重症患者の管理において必要な薬学生教育 —臨床現場で学生と共にできることは—
岩内 大佑（洛和会音羽病院薬剤部）

S01-3 私が目指す臨床薬剤師像と薬学教育
原 直己（労働者健康安全機構横浜労災病院薬剤部）

S01-4 From the admission to the grave !?
臨床教育における大学と医療機関の生涯連携について考える
柴田 啓智（済生会熊本病院薬剤部）

S01-5 高い資質を持った薬剤師の養成に向けた改訂モデル・コアカリキュラム対応の実務実習の在り方とは
平田 収正（大阪大学大学院薬学研究科）

<シンポジウム2 (S02) > 9月12日(土) 11:00~13:00

「今こそ問う！ 薬学における医療プロフェッショナリズムとは？」

オーガナイザー：小佐野 博史（帝京大学薬学部 教授）

細谷 治（日本赤十字社医療センター 薬剤部長／城西大学薬学部 特任教授）

S02-1 薬学における医療プロフェッショナリズム教育の幕開け —シンポジウム趣旨説明—
細谷 治（日本赤十字社医療センター薬剤部）

S02-2 薬学における医療プロフェッショナリズムについて
白幡 晶（城西大学薬学部）

S02-3 地域包括ケアシステムで薬剤師の担うべきもの —人生100年時代における薬剤師の役割—
中井 清人（厚生労働省）

S02-4 医療プロフェッショナリズム教育を考える
中島 宏昭（公益財団法人・世田谷区保健センター）

S02-5 災害医療における薬剤師のプロフェッショナリズム —「災害救援薬剤師」とは—
丸山 嘉一（日本赤十字社 災害医療統括監／
日本赤十字社医療センター 国内・国際医療救援部長）

S02-6 在宅薬剤師におけるプロフェッショナリズムとは
米本 奈央（みよの台薬局株式会社）

<シンポジウム3 (S03) > 9月12日(土) 11:00~13:00

「薬学部におけるプレコンセプションケア教育はどうあるべきか？」

—当事者として、未来の医療者・薬剤師として—

オーガナイザー：宮原 富士子 (NPO 法人 HAP 理事長)

串田 一樹 (昭和薬科大学 地域連携イノベーション講座 特任教授)

S03-1 薬学部におけるプレコンセプションケア教育は適切なのか？

—現役薬剤師の女性の健康教育における実情と課題—

宮原 富士子 (NPO 法人 HAP 理事長)

S03-2 若年女性が抱える健康課題 —7,000名調査「働き女子白書」が明らかにした—

細川 モモ (一般社団法人 Luvtelli (ラブテリ) 代表理事 予防医療コンサルタント)

S03-3 大学での性差医療教育の試み —緊急避妊薬に関わる薬剤師の役割を学ぶ—

井手口 直子 (帝京平成大学薬学部)

S03-4 薬局からおこなう地域の女性支援 —ウイメンズヘルスケアのできる薬剤師育成—

柴田 綾子 (淀川キリスト教病院 産婦人科医)

<シンポジウム4 (S04) > 9月12日(土) 14:30~16:30

日本薬学教育学会実務実習委員会企画シンポジウム

「新しい時代を切り拓く薬剤師養成のために必要な体験型実習について考える」

オーガナイザー：鈴木 匡 (名古屋市立大学大学院薬学研究科 教授)

平田 収正 (大阪大学大学院薬学研究科 教授)

S04-1 2019年度薬局実務実習アンケートから考察する実務実習の現状と課題

永田 泰造 (公益社団法人 日本薬剤師会)

S04-2 ふるさと実習ならではの取組みとは —薬学部がない県で出来ること—

屋地 慶子 (鹿児島大学病院)

S04-3 地域・大学に合わせた実務実習の推進 —患者の診療の流れに沿った実務実習—

松下 良 (金沢大学医薬保健研究域薬学系/病院・薬局実務実習北陸地区調整機構委員長)

S04-4 薬学実務実習の評価の課題と提言

大津 史子 (名城大学薬学部 医薬品情報学 教授)

<シンポジウム5 (S05) > 9月12日(土) 14:30~16:30

「薬学教育モデル・コアカリキュラム「A 基本事項」の体系的な取り組みから評価まで

—各大学の取り組み紹介と医学教育の流れから考える—

オーガナイザー：田中 佐知子 (昭和大学薬学部 准教授)

有田 悦子 (北里大学薬学部 教授)

S05-1 昭和大学薬学部における「A 基本事項」の取り組みと評価

—ナラティブを深めるためのルーブリック評価表—

田中 佐知子 (昭和大学薬学部薬学教育学講座)

S05-2 「A 基本事項」の体系的な取り組みから評価まで
—少人数教員による『SGD チームワーク評価』の試み—
有田 悦子（北里大学薬学部医療心理学部門）

S05-3 実務実習生のプロフェッショナル意識向上に向けた評価ツール P-MEX の適用と取り組み
鈴木 小夜（慶應義塾大学 薬学部）

S05-4 医療プロフェッショナルリズム教育 —基本的考え方と本学での取り組み—
宮田 靖志（愛知医科大学医学部 地域総合診療医学寄附講座）

<シンポジウム6 (S06) > 9月12日(土) 14:30~16:30
「将来を見据えた薬剤師像の構築 —様々な勉強会の立ち上げと継続から見えてくるもの—」
オーガナイザー：新井田 純坪（帝京大学薬学部 特任助教／虎薬局）
笠原 正幸（薬剤師 ONAiR／富士薬局大泉店）

S06-1 ライブストリーミングを使った相互関係学習
—4年間で45本のライブ勉強会で見えてきたこと—
笠原 正幸（薬剤師 ONAiR／富士薬局大泉店）

S06-2 ジェネラリスト薬剤師への道 —医療貢献できる専門職を目指して—
三谷 徳昭（ミライ☆在宅委員会／パル薬局菅生店）

S06-3 生涯学習のグッドサイクル —自ら機会を作り、その機会によって自らを変えよ—
山内 伴紀（ファーマシストキャンパス／つなぐ薬局柏）

<シンポジウム7 (S07) > 9月12日(土) 14:30~16:30
「教育コンピテンシーの全国測定を目指す ～大学横断的な教育成果の研究プロジェクト～」
オーガナイザー：木下 淳（兵庫医療大学薬学部 准教授）
清水 忠（兵庫医療大学薬学部 准教授）

S07-1 教育や内部質保証における「測定と評価」の意義と要点
山田 勉（名古屋市立大学高等教育院）

S07-2 薬学教育学の研究に次の一手を —教育を支えるメタアナリシスを目指す—
安原 智久（摂南大学薬学部）

<シンポジウム8 (S08) > 9月13日(日) 10:00~12:30
文部科学省 GP
「地域・僻地医療を支える薬学人養成の諸課題を今こそ ONE TEAM で取組むために」
オーガナイザー：湯本 哲郎（星薬科大学薬学部）
伊東 明彦（明治薬科大学薬学部）

S08-1 ふるさと・遠距離出身地での実務実習に関する現状と課題
湯本 哲郎（星薬科大学薬学部）

- S08-2 薬科大学・薬学部が設置されていない県の
薬剤師会・病院薬剤師会を対象としたヒアリング調査
今西 孝至（京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター）
- S08-3 ふるさと・遠距離地域における実務実習等の拡充に向けたワークショップの実施と成果
伊東 明彦（明治薬科大学薬学部）
- S08-4 薬局実習の現状と課題 ―地域貢献とかかりつけ機能の実践を学ぶ実習を目指して―
永田 泰造（公益社団法人 東京都薬剤師会）

<シンポジウム9 (S09) > 9月13日(日) 10:00~12:00
「臨床準備教育の方略を考える ―近畿地区統一評価基準の活用を踏まえて―」
オーガナイザー：角山 香織（大阪薬科大学薬学部 准教授）
串畑 太郎（摂南大学薬学部 助教）

<シンポジウム10 (S10) > 9月13日(日) 10:00~12:30
「学部教育から医療現場・地域へ広がる多職種連携
―患者中心の医療を実践できるチームを目指して―」
オーガナイザー：渡邊 清高（帝京大学医学部）
楯 直子（帝京大学薬学部）

- S10-1 薬学部におけるヒューマニティ・コミュニケーション教育
―多職種連携への一層の貢献のために―
楯 直子（帝京大学薬学部）
- S10-2 薬学部における地域連携教育
―本学に独自のセミナー科目で医療職としての心・態度を育てる―
安西 偕二郎（帝京平成大学薬学部）
- S10-3 高齢者施設における多職種連携と薬剤師への役割期待 ―看護師の立場から―
上野 公子（帝京大学医療技術学部看護学科）
- S10-4 学部教育から医療現場・地域へ広がる多職種連携 ―病院と薬局における真の連携を目指して―
安野 伸浩（帝京大学薬学部）
- S10-5 学部多職種教育から大学病院・地域への連携へ ～地域のチーム医療を支える人材育成モデル～
渡邊 清高（帝京大学医学部内科学講座）

<シンポジウム11 (S11) > 9月13日(日) 10:00~12:30
医療系教育学会連携シンポジウム
「共有し助けよう！ チーム医療教育の連携の輪」
オーガナイザー：野田 幸裕（名城大学薬学部）
木内 祐二（昭和大学医学部）

- S11-1 対象となる人々の全人的理解と主体性を支えるチーム医療教育 ―病いの経験の共有から―
森田 夏実（東京情報大学看護学部）

S11-2 歯学部多職種連携教育の現状と取り組み事例
笠原 正貴（東京歯科大学薬理学講座）

S11-3 日本医学教育学会と医療・福祉系の教育学会との連携
—将来構想としての「専門職連携教育のプラットフォーム」の構築—
大槻 眞嗣（藤田医科大学医学部）

S11-4 日本保健医療福祉連携教育学会の IPE、IPW 推進の取り組みと教育学会連携への期待
木内 祐二（昭和大学医学部薬理学講座）

<シンポジウム 12 (S12) > 9月13日(日) 14:00~16:00

東京都薬剤師会・東京都病院薬剤師会合同シンポジウム

「薬剤師が学ぶとは —地域連携で頼りにされる薬剤師として—」

オーガナイザー：浅井 和範（星薬科大学 教授／東京都薬剤師会 理事）

石川 さと子（慶應義塾大学薬学部 准教授／東京都薬剤師会 理事）

S12-1 薬剤師の生涯研鑽とは —東京都薬剤師会の取り組み—
山田 純一（公益社団法人東京都薬剤師会）

S12-2 病院薬剤師として学ぶ意義 —東京都病院薬剤師会の取り組み—
高田 めぐみ（榊原記念クリニック 薬剤科／一般社団法人東京都病院薬剤師会）

S12-3 大学で学ぶ —生涯学習プログラムの活用—
浅井 和範（星薬科大学薬学部／公益社団法人東京都薬剤師会）

S12-4 地域社会のために薬剤師が学ぶこと
宮川 昌和（エコ薬局／東京都薬剤師会）

S12-5 学ぶその先に —日常業務から研究へ—
石川 さと子（慶應義塾大学薬学部／公益社団法人東京都薬剤師会）

S12-6 病院と薬局が連携して実現する地域連携
東京都病院薬剤師会と東京都薬剤師会のさらなる連携を目指して
篠原 高雄（杏林大学医学部附属病院 薬剤部／
一般社団法人東京都病院薬剤師会／公益社団法人東京都薬剤師会）

<シンポジウム 14 (S14) > 9月13日(日) 14:00~16:00

「教育と AI — AI 時代における学びと挑戦 —」

オーガナイザー：大津 史子（名城大学薬学部 教授）

長谷川 洋一（名城大学薬学部 教授）

S14-1 AI 時代を見据えて今学ぶべきもの —新たな医療がもうすぐそこに—
坂田 信裕（獨協医科大学情報基盤センター）

S14-2 教え方・学び方・働き方の未来 —AI や先端テクノロジーがもたらす教育・仕事革命—
飯吉 透（京都大学）

<シンポジウム 15 (S15) > 9月13日(日) 14:00~16:00

「個性が輝くインクルージョンの実現 –合理的配慮とテクニカルスタンダードを考える–」

オーガナイザー：菊池 千草(名古屋市立大学大学院薬学研究科 講師)

安原 智久(摂南大学薬学部 准教授)

S15-1 薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード

上村 直樹(東京理科大学薬学部 教授)

S15-2 専門職養成系大学における合理的配慮の提供と教育の質保証

–テクニカルスタンダードをめぐる考え方と今後の課題–

船越 高樹(国立高等専門学校機構本部 特命准教授/学生参事補)

<シンポジウム 16 (S16) > 9月13日(日) 14:00~16:00

「薬学教育への「栄養薬学」の導入とその意義」

オーガナイザー：北河 修治(神戸薬科大学 名誉教授)

栗原 順一(帝京大学 名誉教授)

S16-1 薬学教育への「栄養薬学」の導入とその意義 –提案に至った経緯と実施にあたっての課題–

北河 修治(神戸薬科大学名誉教授)

S16-2 病院薬剤師から見た栄養薬学の必要性について

曾我 昭宏(神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター薬剤室)

S16-3 在宅医療に関わる薬局薬剤師の立場から

孫 尚孝(株式会社ファーマシィ 医療連携部)

S16-4 サプリメントの適正普及に携わる薬剤師が求める「栄養薬学」

三橋 清治(帝京大学医療技術学部 特別講師)

S16-5 生涯研修を担当する大学教員の立場から

–より良い薬物治療と健康サポートに貢献するために–

鎌尾 まや(神戸薬科大学薬学部)

7. ワークショップ

<ワークショップ 1 (WS1) > 9月12日(土) 11:00~13:00

「TRY! 事例を使った薬学倫理教育 ~四分割表の活用法~」

オーガナイザー：有田 悦子(北里大学薬学部 教授)

中田 亜希子(東邦大学医学部 講師)

<ワークショップ 2 (WS2) > 9月12日(土) 11:00~

「質的分析入門 ~コーディングとその後の解析に少し触れてみよう~」

オーガナイザー：佐藤 卓史(大阪薬科大学 准教授)

角山 香織(大阪薬科大学 准教授)

倉田 里穂(大阪薬科大学 助教)

庄司 雅紀(大阪薬科大学 助教)

- <ワークショップ 3 (WS3) > 9月12日(土) 13:00~15:00
「臨床現場に必要な心構えと薬学的管理、患者に寄り添う薬剤師とは！！」
オーガナイザー：津田 真弘（京都大学大学院 薬学研究科統合薬学教育開発センター 講師）
段林 正明（大阪府済生会野江病院薬剤科 主任）
- <ワークショップ 4 (WS4) > 9月12日(土) 14:30~16:30
「「評価」ではなく学生の成長を促す「目標」としてのルーブリックをつくろう」
オーガナイザー：松野 純男（近畿大学薬学部）
- <ワークショップ 6 (WS6) > 9月13日(日) 10:00~12:30
「薬剤師・薬学生のためのメンタルヘルス・ファーストエイド (MHFA) 短時間プログラム
～メンタルヘルスの問題を抱える人に対する早期支援～」
オーガナイザー：齋藤 百枝美（東京薬科大学薬学部 教授）
岸本 成史（帝京大学薬学部 教授）
- <ワークショップ 7 (WS7) > 9月13日(日) 14:00~16:00
「患者との対等な対話を通して臨床スキル向上を図る ～実践的取り組みの体験を通して～」
オーガナイザー：新井田 純坪（帝京大学薬学部 特任助教／虎薬局）

8. 一般講演 (e-ポスター発表)

学生発表はポスター番号に S が付きます。学生発表については、大会審査員による審査を行い、優秀発表賞を9月13日(日)の閉会式にて大会長より発表します。

<薬学教育カリキュラム>

- P001 **薬学部における倫理観・コミュニケーション能力醸成の到達度を測るための学年横断的ルーブリック評価表の作成とその評価**
○井上賀絵、石川さと子、市川大樹、今岡鮎子、岩田紘樹、河添 仁、木村真規、小林典子、中村智徳、横田恵理子、漆原尚巳 (慶應義塾大学薬学部)
- P002 **疾病予防教育プログラム開発に向けた不整脈スクリーニングの実施**
○都田真奈¹、武田三樹子²、麓伸太郎¹、中嶋幹郎¹、北里海雄¹、田代浩幸³、秋吉隆治³、Tracy Hunter²、Barry Bleske² (1 長崎大学薬学部、2 米国・ニューメキシコ大学薬学部、³ 長崎県薬剤師会)

<初年次教育>

- P003 **化学系薬学準備教育科目における1年次留年生の Student Assistant 活動とその効果**
○木藤聡一¹、島 弘史²、乗富政雄³、中越元子¹ (1 北陸大薬・教育研究セ、² 金沢高校、³ 元金沢伏見高校)
- P004 **1年次前期「生物学」における遠隔授業の効果 —学習行動と成績への影響—**
○武本眞清、畑友佳子、中越元子 (北陸大学薬・薬学教育研究センター)
- P005 **初年次基礎学力向上プログラム「薬学基礎ドリル」の学修効果の検証**
○兒玉安史、山口雅史、笠岡 敏、藤田 貢 (広島国際大学薬学部)
- P006 **初年次複数科目でのピア評価結果の分析 —差を付けて評価すると、高く評価される!?—**
○江崎誠治、青江麻衣、西中 徹 (大阪大谷大学薬学部 薬学教育支援・開発センター)
- P007 **“Stay home”期間、学生の効果的な自学学習とリメディアル教育におけるメタ認知的学習支援の試み**
○兒玉典子、西村克己、竹仲由希子、湯本照美、小山淳子、宮田興子 (神戸薬大・薬学基礎教育センター)
- P008 **ICTを活用したコロナ禍の薬学生早期教育の試み**
○西村亜佐子¹、黒田泰司²、廣田有紀³、河本一真⁴、鈴木渉太^{5,6}、岡田 浩⁶、芝田信人¹ (1 同志社女子大学薬学部生物薬剤学研究室、² 有限会社 黒田技術研究所 まこと薬局、³ 株式会社九品寺ファーマ せいら調剤薬局、⁴ スマイル薬局藤森店、⁵ 奈良県立医科大学附属病院 臨床研究センター、⁶ 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野)

<臨床準備教育>

- P009 **薬学共用試験 CBT—2019年度結果について**
○石川さと子^{1,2}、伊藤智夫^{1,3}、中村明弘^{1,4}、増野匡彦^{1,2}、石塚忠男^{1,5}、松野純男^{1,6}、前田定秋^{1,7}、小澤孝一郎^{1,8}、出口芳春^{1,9}、三田智文^{1,10}、飯島史朗^{1,11}、宮崎智^{1,12}、矢ノ下良平^{1,13}、奥 直人^{1,9} (1 薬学共用試験セ、² 慶應大薬、³ 北里大薬、⁴ 昭和大薬、⁵ 熊本大薬、⁶ 近畿大薬、⁷ 摂南大薬、⁸ 広島大薬、⁹ 帝京大薬、¹⁰ 東大薬、¹¹ 文京学院大保、¹² 東京理大薬、¹³ 帝京平成大薬)

- P010 **2019年薬学共用試験 OSCEの結果解析と2020年 OSCE実施に向けた感染対策**
 ○渡邊真知子^{1,2}、野田幸裕^{1,3}、有田悦子^{1,4}、石田志朗^{1,5}、入江徹美^{1,6}、岡村昇^{1,7}、小澤孝一郎^{1,8}、木内祐二^{1,9}、向後麻里^{1,10}、田村豊^{1,11}、富岡佳久^{1,12}、中嶋幹郎^{1,13}、橋詰勉^{1,14}、松下良^{1,15}、松元一明^{1,16}、吉富博則^{1,11}、木津純子¹、奥直人^{1,2}（1 薬学共用試験セ、2 帝京大薬、3 名城大薬、4 北里大薬、5 徳島文理大薬、6 熊本大薬、7 武庫川女大薬、8 広島大薬、9 昭和大医、10 昭和大薬、11 福山大薬、12 東北大薬、13 長崎大薬、14 京都薬大、15 金沢大薬、16 慶應大薬）
- P011 **実症例に基づいた Problem-based learning (PBL) —チュートリアル教育（臨床薬学演習）の実施及び評価**
 ○田中紫茉莉、柏倉康治、内田信也、並木徳之（静岡県立大学 薬学部）
- P012 **実症例に基づいた Problem-based learning (PBL) —チュートリアル教育（臨床薬学演習）における学生の情報検索の動向**
 ○柏倉康治、田中紫茉莉、内田信也、並木徳之（静岡県立大学 薬学部）
- P013S **医療面接の会話分析に基づいたルーブリックの作成**
 ○平本貴洋、長谷川仁美、平井めぐみ、中村英里、岩澤晴代、奥秋美香、長田洋一、渡辺茂和、岸本成史（帝京大薬）

<実務実習>

- P014 **薬樹株式会社における実務実習の取り組み**
 ○久木崎和恵、佐藤光太、永井朝美、谷口美奈、成富清蔵（薬樹株式会社）
- P015 **実務者実習における診療所・薬局連携体験実習の有用性**
 ○羽野卓三¹、佐々木秀行¹、秋月麻友子²、土井光則²、岩城久弥³、崎山晃宏³、松原和夫^{2,4}、太田茂⁴（1 和歌山県立医科大学サテライト診療所本町、2 和歌山県立医科大学附属病院薬剤部、3 和歌山県薬剤師会営薬局、4 和歌山県立医科大学薬学部開設準備室）
- P016 **当院での実務実習に於ける8疾患の学習方法とその評価**
 ○上田覚、白川真美、尾上雅英（公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院薬剤部）
- P017 **精神医療実習（病院実務実習）の構築 —精神疾患患者の実際を学び対応を習得する必修科目—**
 ○栗原竜也¹、永井努¹、黒沢雅広¹、唐沢浩二¹、福村基徳¹、田島正教¹、向後麻里¹、中野裕佳子¹、佐野智香²、八木孝仁²、池田勝之²、真田建史²、高塩理²、岩波明²、中村明弘¹（¹昭和大薬学部、²昭和大薬大学附属烏山病院）
- P018 **薬学生の実務実習におけるこころの学生支援方法の提案 —特に発達障害などの障害や疑いがある事例について—**
 ○河田興、小森浩二、辻琢己、安原智久、菊岡千夏、河野武幸（摂南大学薬学部）
- P019 **新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が薬局実務実習に与えた影響**
 ○野嶋芳紀、邑瀬誠、深津英人（杏林堂薬局）
- P020S **実習生の一般性自己効力は薬局実習後に醸成される「E3 薬物治療に役立つ情報」及び「F 薬学臨床」に対する自己効力感を介して実務実習での成功体験に寄与する**
 ○菊山史博、鈴木小夜、横山雄太、河添仁、平賀ゆい、地引綾、中村智徳（慶應義塾大学 大学院薬学研究科 医療薬学部門）

<薬剤師国家試験>

- P021 本学薬学教育支援センターで行った6年次生に対する取り組みとその結果
—令和元年度の対象者について—
○刀根菜七子、能田 均、藤岡稔大（福岡大薬）
- P022 学修指導改善を目的としたリーディングスキルテストの導入（2）
—読解力と薬剤師国家試験成績との関係に関する検討—
○宮崎誠^{1,2}、前野真徳²、手島尚²（¹大阪薬大 薬学教育研究センター、²大阪薬大 IR 室）
- P023 2012年度6年制薬学過程入学における各大学の国家試験合格に関する効率性分析
○三浦健¹、安井菜穂美¹、速水幹也²（¹武庫川女大薬、²椋山女学園大）
- P024 第105回国試の合格者の特徴から、成績下位者への指導の提案
—第105回国試問題における合格者と不合格者の各問題の正答率を比較—
○辻学志、岡本耕司、松田真佐一、山下真功、白川和宏、横井宏哉、佐々龍範、田中創、
鯨坂孝志、杉本実希子、政野敬史、岩田紘司朗、山田ゆうな、澁路龍大、村上理、下野宗
隆、高田直樹、木暮喜久子（学校法人医学アカデミー 薬学ゼミナール）

<学部教育>

- P025 量的教育効果の検証とその結果から導かれる新たな検証方法の提案
○波多野紀行、武田良文、安池修之、古野忠秀（愛知学院大学薬学部）
- P026 問題解決能力の醸成を目指した授業設計 —基礎的な知識から深い学びへ—
○畑友佳子、池田ゆかり、齋藤大明、宗像浩樹、山田 豊、中越元子（北陸大学薬学部）
- P027 オンライン授業による薬学専門科目の知識活用・応用力育成を目的としたアクティブラー
ニング型授業の実践
○小藤恭子、畑友佳子、杉山朋美、村田慶史、中越元子（北陸大薬）
- P028 オンライングループワークの導入と今後の課題について
○幡生あすか、上田幹子（大阪大学大学院薬学研究科附属実践薬学教育研究センター）
- P029 薬学生が基礎薬学科目の重要性を認識するきっかけを探る
—基礎薬学科目の学習動機づけのために—
○藤本哲也、松原実里（北海道科学大学薬学部）
- P030 患者支援を目指した学部教育での学び —AYA世代がん患者についての学びを通して—
○横田恵理子、鉾田有貴（慶應大・薬）
- P031S 薬学部新入生の患者安全意識の検討
○長谷主帆¹、朱暁人²、笹森千愛²、笠井健司³、大滝恭弘⁴（¹帝京大学薬学部薬学科、²帝
京大学医学部医学科、³東京ベイ・浦安市川医療センター、⁴帝京大学医療共通教育研究セ
ンター）

<生涯研鑽>

- P032 医療論文を読んでどう生かすのか？
○鈴木猛弘（ひまわり調剤新川崎薬局）

- P033 **薬局薬剤師の研究活動に対する意識調査**
 ○庄村元希¹、横井正之^{2,4}、和田勝志¹、浮貝真子¹、村田健太郎¹、高瀬真宏¹、向山一郎¹、鈴木達彦³、平大樹⁴、蓮元憲祐⁴ (1 なの花中部、2 パスカル薬局、3 メディカルシステムネットワーク、4 立命館大学薬学部)
- P034 **患者の病態アセスメントから薬学的介入につなげるための「フィジカルアセスメントセミナー〈アドバンストコース〉」の取り組みと教育効果**
 ○五十嵐恵美子¹、今西孝至²、淵田真一³、門田典子⁴、佐古守人⁵、西村豊⁶、細木誠之⁷、芦原英司⁷、楠本正明¹ (1 京都薬科大学生涯教育センター、2 京都薬科大学臨床薬学教育研究センター、3 JCHO 京都鞍馬口医療センター血液内科、4 JCHO 京都鞍馬口医療センター看護部、5 医療法人橘会東住吉森本病院薬剤科、6 みやこ薬局株式会社、7 京都薬科大学病態生理学分野)
- P035 **神戸薬科大学における「健康食品領域研修認定薬剤師制度」に基づく研修プログラム受講者に対するアンケート調査 —2018年度および2019年度の比較分析—**
 ○鎌尾まや、岩川精吾、宮田興子 (神戸薬科大学)
- P036 **西日本豪雨災害支援活動に従事した薬剤師のストレス経験 (2) —面接調査から得られた薬学教育への示唆—**
 ○伊原千晶 (京都先端科学大学人文学部心理学科)

<多職種連携>

- P037S **認知症カフェに参加する薬学生の必要性と意義**
 ○古賀雄太郎、渡部美波、宮 薫子、角南友佳子、道原明宏、(福山大学薬学部病態生理・ゲノム機能学研究室)
- P038S **グループホームに関する薬学生の理解度調査**
 ○渡部美波、末田有土、古賀雄太郎、豊田彩乃、道原明宏 (福山大学薬学部)

<行動科学・コミュニケーション・倫理>

- P039 **薬学生への共感性を高める教育的プログラム —efferson Scale of Empathy での効果検証—**
 ○中島園美 (神戸薬科大学・臨床心理学)
- P040 **6年制薬学部に入學した1年生の喫煙に関する意識の調査研究 (2) —父親および母親の喫煙との相関—**
 ○土井孝良、齋藤勝也、田村 道、村井保之、佐古兼一、小林 賢 (日本薬科大学)
- P041 **青森県地域住民を対象としたフレイル対策のためのヘルスリテラシー調査**
 ○多田智美^{1,2}、佐藤昌泰¹、浅田彩季¹、網野佳奈¹、岡島未槻¹、小川達也¹、佐藤有人¹、相馬理佐¹、邊見華菜恵¹、三浦裕也¹、大越絵実加^{1,3} (1 青森大薬、2 青森大薬・薬学教育センター、3 青森大学 SDGs 研究センター)
- P042 **倫理ビデオ教材を用いたゼミナール・薬局新人研修の試み —受講生アンケートからみる講義および教材評価について—**
 ○藤崎玲子¹、櫻井浩子² (1 株式会社望星薬局、2 東京薬科大学薬学部)
- P043S **日本の薬学生の意識調査**
 ○小島基彰^{1,2} (1 摂南大学薬学部、2 一般社団法人日本薬学生連盟)

<教育技法>

- P044 **ChemDraw® の自動命名機能を利用した、有機化合物の命名法の学習指導**
○山際教之^{1,2}、渡辺和樹^{1,2}、峯野知子¹、須藤豊¹、信田智哉¹ (1 高崎健康福祉大薬、² 同薬学学修支援センター)
- P045 **Assessing online learning during Covid19**
—Reflections from pharmacy communication classes—
○Denise A. Epp (第一薬科大学、語学・薬学教育推進センター)
- P046 **オンライン型学生実習の実施に関する報告**
—Microsoft Office365 を活用したオンライン型学生実習の実施—
○齋藤博、山田俊幸、千葉輝正、栗原大河、福田耀士、佐藤卓美、(日本薬科大学薬)
- P047 **オンライン教育による学習効果の検証 —実務実習事前実習における技能・態度の育成—**
○成井浩二¹、富澤明子¹、山田哲也²、北垣邦彦²、益山光一²、陳 惠一¹ (1 東京薬科大学薬・一般用医薬品学教室、² 東京薬科大学薬・社会薬学教育センター)
- P048 **薬学科4年生に必要な知識の習熟度向上を目指したモバイル e-ラーニングの実践**
—動機づけ及び学習習慣の観点からみる学習効果—
○井上信宏、山内理恵、大野修司、久保元、浅井和範 (星薬大・薬学教育)
- P049 **ICT を用いた薬学教育の有用性と、その普及のノウハウについて**
○家住英樹¹、大塚文徳²、忍足鉄太³、奥 直人⁴ (1 イエズミ印刷、² イエズミ印刷・顧問、³ 帝京大薬・創薬化学、⁴ 帝京大薬・医薬品分析学)
- P050 **分野横断型統合演習の遠隔実施による教育効果**
○岩澤晴代、厚味巖一、安藤崇仁、板垣文雄、黄倉 崇、長田洋一、岸本成史、北加代子、小佐野博史、佐藤元信、出口芳春、長谷川仁美、横山和明、渡邊真知子、安原真人、奥直人 (帝京大薬)
- P051 **「臨床検査学」講義での基礎科目との繋がりを意識させることを目指したジグソー法の取り組み**
○小迫知弘¹、刀根菜七子¹、藤岡稔大¹、吉田秀幸¹、本田伸一郎¹、橋場論² (1 福岡大学薬学部、² 福岡大学教育開発支援機構)
- P052 **若手薬局薬剤師の教育方法 (調剤併設型ドラッグストア)**
—入社2年目薬剤師の OTC 学習への能動的な取組—
○邑瀬誠、佐野恵美、深津英人 (杏林堂薬局)
- P053S **CLIL を薬学教育に導入するための教材開発と実践報告**
○國分きり、菊地勇希、伊藤頼位 (奥羽大学薬学部)

<学習成果の可視化・評価>

- P054 **薬学部における卒業論文研究評価の可視化とディプロマ・サプリメント発行への取組み**
○恩田健二、平野俊彦、倉田香織、野本 聡、岩井英斗士 (東京薬科大学)
- P055S **P-MEX を用いた実務実習生のプロフェッショナリズム評価の妥当性の検討**
—薬局実務実習での検討—
○川元駿、鈴木小夜、前田智昭、真鍋司、地引綾、横山雄太、河添仁、中村智徳 (慶應義塾大学薬・医療薬学・社会連携センター 医療薬学部門)

P056S 薬物療法の実践の学習成果を評価するための社会的参照基準の検討
○鈴木咲穂、酒井隆全、田辺公一、大津史子（名城大学薬・医薬品情報学）

P057S 薬学卒業研究における調べる力、考える力、プレゼン力向上のための評価尺度開発
○多田聡子¹、中谷絵理子¹、赤下学¹、岸本成史²、砂見緩子³、安岡高志⁴、黄倉崇¹（¹ 帝京大学薬・製剤学、² 帝京大学薬・薬学教育研究センター、³ 帝京大学医療技術・看護学、⁴ 帝京大学高等教育開発センター）

<教育研究>

P058 薬学生を対象とした医学薬学専門英語の指導と習得度および定着度の検証
○天ヶ瀬葉子¹、スミス朋子²、野口ジュディー³（¹ 同志社女子大学・薬・病態生理学、² 大阪薬科大学・薬、³ 神戸学院大学・グローバルコミュニケーション）

P059 障害者役と健常者役の合意のもとにきめるグループワークがもたらす学習効果
—SCAT法を用いた分析による検証—
○栗尾和佐子、田中美佐恵、岩崎綾乃、永田実沙、上田昌宏、串畑太郎、安原智久、曾根知道（摂南大学薬学部）

P060 薬剤師による薬学教育の評価
—全国アンケート調査での旧4年制課程と6年制課程の比較から—
○小林文、山本仁美、加藤里奈、田中佐知子（昭和大学薬学部薬学教育学講座教育実践学部門）

P061 新人薬剤師に求められる基本的な社会的スキルに関する研究
—インタビューから得られた6年次生の心理—
○中尾幸代^{1,2}、村田明子^{1,3}、松田裕子¹、南恵理子^{1,4}、山中智香^{1,5}、沼田千賀子¹（¹ 神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター、² 薬局エビラファーマシー、³ 偕生病院、⁴ きららみらい薬局、⁵ ウィズ・グロー）

P062 新人薬剤師に求められる基本的な社会的スキルに関する研究
—インタビューから得られた体得状況の変化の要因—
○村田明子^{1,2}、中尾幸代^{1,3}、松田裕子¹、南恵理子^{1,4}、山中智香^{1,5}、沼田千賀子¹（¹ 神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター、² 偕生病院、³ 薬局エビラファーマシー、⁴ きららみらい薬局、⁵ ウィズ・グロー）

<Institutional Research(IR)>

P063 入学時から卒業時までの成績管理一元化システムの構築と解析結果
○小佐野博史、岸本成史、岩澤晴代、長谷川仁美、楯直子、奥直人、井上圭三（帝京大学薬学部）

P064 東京薬科大学におけるICT環境に関する実態調査
—オンライン授業前夜の薬学部学生のBYOD機活用に関する報告—
○倉田香織、山田寛尚、森河良太、土橋朗（東薬大・情報教育研究センター）

P065 薬学教育分野別評価における評価報告書の特徴分析
○山口雅史¹、兒玉安史¹、笠岡 敏¹、浅田義和²、藤田貢¹（¹ 広島国際大学薬学部、² 自治医科大学）

<高大接続・Covid-19 関連 他>

- P066 **高大連携プログラムの一環としての理科（生物）実験教材の開発**
○佐藤昌泰^{1,2}、金光兵衛^{1,2}、天内博康¹、三浦裕也¹、大越絵実加^{1,3}（¹ 青森大学薬学部、² 青森大学薬学教育センター、³ 青森大学 SDGs 研究センター）
- P067S **中高生を対象とした薬学的な概念の形成を図る理科実験教材の開発**
○堀松星翔¹、佐藤昌泰¹、三浦裕也¹、大越絵実加^{1,2}（¹ 青森大学薬学部、² 青森大学 SDGs 研究センター）
- P068 **学生が作成した「薬学実践問題」の分析結果から見えてきたこと**
○吉村典久、開 章宏、細井信造（京都薬科大学）
- P069 **社会人大学院生（病院薬剤師）が感じたコロナ禍における大学院講義について
—大学構内での対面式講義とオンライン講義とを経験して—**
○伊藤俊和、尾上雅英（公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 薬剤部）
- P070 **新型コロナ感染症流行下における薬学部学生の状況調査**
○熊谷文哉、伊藤頼位、伊藤鍛、渡邊哲也、佐久間勉、木皿重樹、守屋孝洋、佐藤亜希子、佐藤研、早坂正孝、衛藤雅昭（薬学部新型コロナ感染症対策委員会）
- P071 **コロナ禍における、感染症予防対策を踏まえた学内実習環境整備の取り組み
—薬学実習教育推進室の役割について—**
○高橋直仁、三ヶ田潤哉、中島靖子、山足安子、夏目秀視（城西大学薬学部）

9. 閉会式

総括、学生の優秀発表賞表彰